



2026 夏 号

No. 134

～ 特 集 ～

【みんなで取り組む流域治水】

- ・兵庫県
揖保川水系引原川引原ダム再生事業について
- ・和歌山県
県内2例目の特定都市河川指定～紀の川水系貴志川～
- ・堺市
「大和川・石川クリーン作戦」について

～トピックス～

- ・近畿地方整備局 河川計画課
土砂災害防止「全国の集い」in 滋賀を開催

～きんきのダム巡り～

- ・独立行政法人水資源機構
日吉ダム

～インフォメーション～

- ・福井県
河内川ダム ブルーライトアップ



多度峡天然プール
(三重県桑名市 多度川)

ページ

河川紹介

- 2 多度川(桑名市多度町) ㊦
三重県 県土整備部 河川課

特集

『みんなで取り組む流域治水』

- 3 揖保川水系引原川引原ダム再生事業について ㊦
兵庫県 土木部 総合治水課

- 5 県内2例目の特定都市河川指定～紀の川水系貴志川～ ㊦
和歌山県 県土整備部 河川下水道局 河川課

- 7 「大和川・石川クリーン作戦」について ㊦
堺市 建設局 土木部 河川水路課

トピックス

- 9 土砂災害防止「全国の集い」in 滋賀を開催 ㊦
近畿地方整備局 河川部 河川計画課

きんきのダム巡り

- 10 日吉ダム ㊦
独立行政法人水資源機構

インフォメーション

- 11 河内川ダム ブルーライトアップ ㊦
福井県 土木部 河川課



多度峡天然プール

多度川（たどがわ）

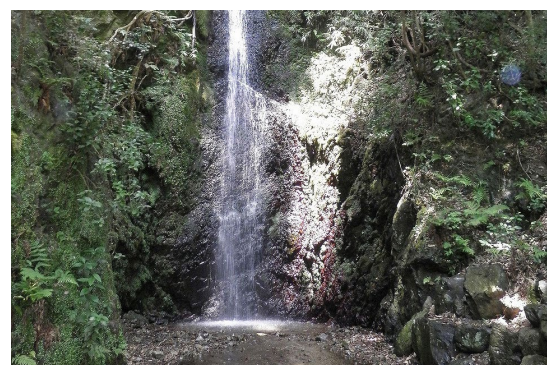
多度川は、養老山地の南に位置する多度山を発端とし、桑名市多度町を西から東に流れ、揖斐川に注ぐ一級河川です。多度山からは、悠々と流れる木曽三川、豊かな濃尾平野を眺めることができます。

夏には、川の清流をそのまま生かした「多度峡天然プール」が賑わいを見せ、涼を求める多くの人々を癒す憩いの場となります。

また、古くから神体山として崇められてきた多度山の麓を流れるこの川は、上げ馬神事で有名な多度大社の歴史や文化とも深く結びついています。



多度山から眺める木曽三川



多度川上流のみそぎ滝

揖保川水系引原川 引原ダム再生事業について

兵庫県 土木部 総合治水課

○ 引原ダムの概要

引原ダムは、兵庫県宍粟市波賀町、一級河川揖保川の支流引原川の上流にある重力式コンクリートダムです。

昭和16年に揖保川河水統制事業ダム及び発電工事に着手、戦争の影響で工事を一時中止しましたが、昭和28年に揖保川総合開発事業として建設が再開され、昭和33年に完成しました。

兵庫県土木部が管理する21基のダムの内、最も古いダムで、洪水調節・利水（流水の正常な機能維持、発電、工業用水）の役割を担っています。

ダム湖は音水湖と呼ばれ、カヌー競技場として使用されるなど、多くの人々に親しまれています。

湖面の利用状況



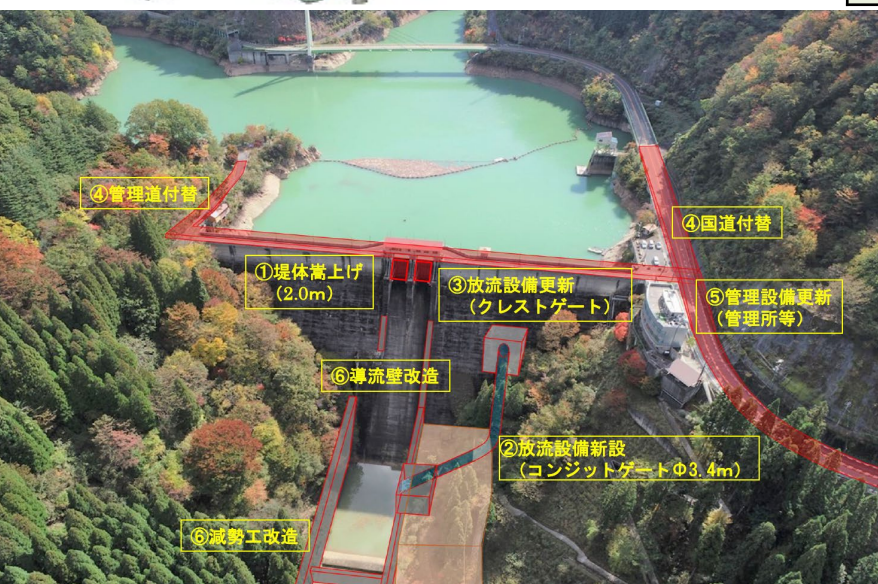
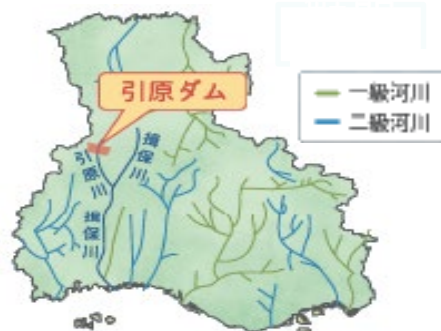
引原ダム 全景（再生前）

○ 引原ダム再生事業の目的と効果

引原ダム再生事業は、近年で2回、（平成23年9月、平成30年7月）実施した異常洪水時防災操作や、近年の豪雨の頻発・激甚化を見据え、洪水調節機能の増強（洪水調節容量拡大、予備放流能力拡充）を図り、更なる治水安全度の向上に取り組み、揖保川流域における浸水被害を軽減することを目的としています。

○ 現状（引原ダム諸元）

所在地	兵庫県宍粟市
河川名	引原川
目的	洪水調整、流水の正常な機能の維持、工業用水、水力発電
型式	重力式コンクリートダム
ゲート	テンター（クレスト）ゲート×2門 ジェットフローゲート×1門
堤高/堤頂長	66.0m/184.4m
総貯水量	2195万 m^3
本体着工年/竣工年	1953年/1958年



引原ダム再生事業の概要

引原ダム再生事業による貯水量の変化

※ 25mプールの最大容量を540 m^3 と仮定

565万 m^3

25mプール約1,0462杯分

堤体嵩上げ
2m

増大貯水容量
173万 m^3 ！！

738万 m^3

25mプール約1,3667杯分

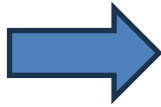
○ 工事進捗状況と今年度の予定

令和6年度に工事着手した引原ダム再生事業は、R7年度末に工事用道路整備（約1.2km）が完了しました。

今年度は、堤体嵩上げ用のコンクリートを打設するために必要となる足場や水質汚濁防止や水生生物の生息環境を守るための処理設備の設置、減勢工の改造（掘削）に着手し、放流設備新設に伴う仮締切設備の製作も実施する予定です。

引き続き、早期に引原ダム再生事業が完了するように取り組んでいきます。

工事用道路 整備前



工事用道路 整備後



○ 広報について

「道の駅はが」（近畿 道の駅 第1号）に引原ダム再生事業の特設コーナーを開設し、資料や映像、「引原ダムパーパークラフト」の配布などにより、現在進めている工事の内容や、ダムの役割について分かりやすく説明しています。

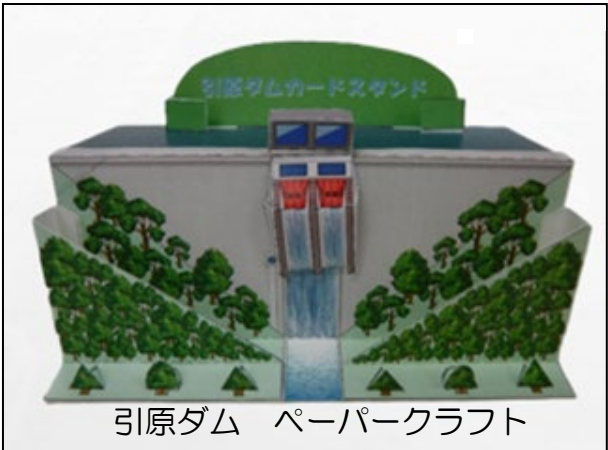
また、工事受注者と協力し、「引原ダム再生通信」を定期的に発行し、地域の方と再生事業の様子等を随時共有しています。



道の駅はが 特設コーナー



引原ダム 再生通信 兵庫県／引原ダム再生事業



引原ダム パーパークラフト

○ おわりに

引原ダムのダム湖は昭和33年の完成以来、地域住民をはじめ多くの人々の憩いの場としての役割を担ってきました。これまで以上に地域とともに歩むダムとなるよう、まずは本事業を安全に完成させてまいります。

県内2例目の特定都市河川指定 ～紀の川水系貴志川～

和歌山県 県土整備部 河川下水道局 河川課

○ 和歌山県の流域治水の取り組み

和歌山県では、気候変動の影響により水害が激甚化・頻発化する中、流域に関わるあらゆる関係者が協働して水害対策に取り組む「流域治水」を推進しています。

○ 特定都市河川制度の活用

流域治水の取り組みの一つとして、和歌山県では「特定都市河川浸水被害対策法」に基づく施策を進めています。特定都市河川に指定することで、集中的な河川整備事業の実施に加え、田んぼダムやため池の低水位管理などのソフト対策も組み合わせた、水害に強いまちづくりを目指しています。具体的には、流域自治体等と連携して「流域水害対策協議会」を設立し、「流域水害対策計画」を策定することで、浸水被害軽減に向けた取り組みを推進しています。

○ わかやま流域治水ロゴマークの作成

1人でも多くの方々に「流域治水」への理解や親しみをもっていただくことを目的に、わかやま流域治水ロゴマークを作成しています。



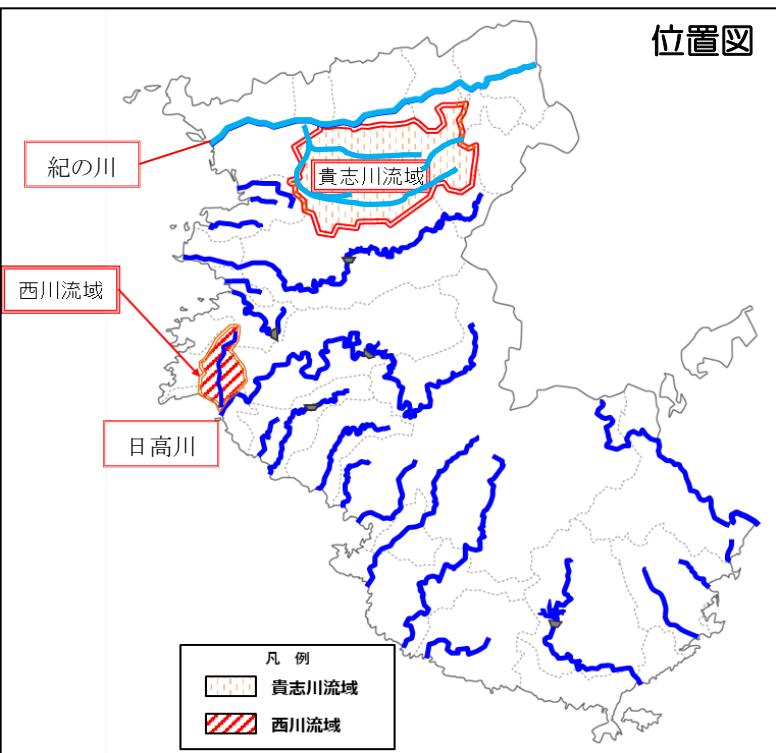
○ 和歌山県内における指定状況

和歌山県内では、これまでに以下の河川が特定都市河川に指定されています。

- ・令和7年1月28日：日高川水系西川及びその支川
- ・令和8年3月31日：紀の川水系貴志川及びその支川

今後も流域のあらゆる関係者が協働して行う、「流域治水」の取り組みを推進していきます。

位置図



貴志川（^{さくら} 柘榴川との合流点付近）
紀の川市桃山町

○ 貴志川流域について

貴志川は、高野山西麓を水源とし、和歌山県北部を西流ののち、海南市沖野々付近で北東に流れを変え、紀の川の河口から19.0km付近で合流する一次支川であり、合流点から6.0km付近までが国管理区間、39.1km付近までが県管理区間となっています。

上・中流域については、山地・丘陵地地形が連続しており、主要交通や都市機能は開けた下流域に集中しています。

また貴志川流域は、北側に和泉山脈があり、暖かく湿った南風の影響を受けることから、出水被害に度々あってきました。中でも近年では、令和5年6月豪雨及び台風第2号で貴志川流域において線状降水帯が発生し、広範囲で浸水被害が発生しました。

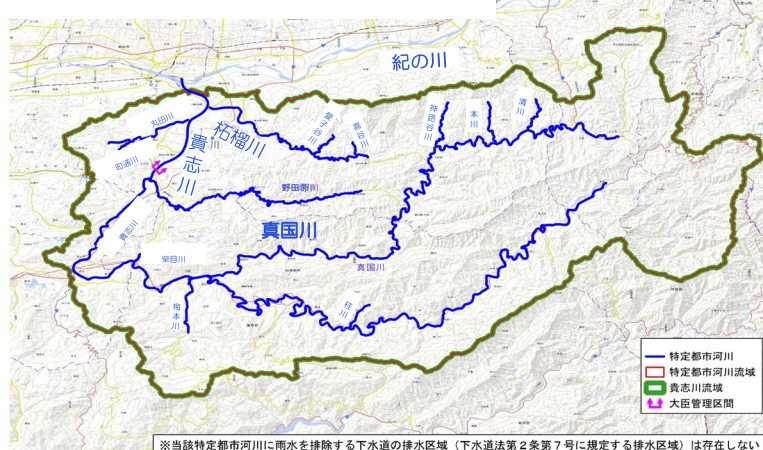


① 貴志川（R5.6豪雨及び台風第2号）



② 真国川（R5.6豪雨及び台風第2号）

貴志川流域特定都市河川 流域図



- 【流域市町】
和歌山市、海南市、紀の川市、
岩出市、紀美野町、かつらぎ町、
九度山町、高野町、有田川町
計9市町（4市5町）
- 貴志川及びその支川
計14河川で構成
- 【貴志川の法河川延長】
39.1km
- 【貴志川の流域面積】
313.2km²



和歌山県PRキャラクター
「きいちゃん」

雨の日はお風呂の
水を流さない

家庭からの排水量を減らす

雨の日は庭に
バケツを置く

雨水を一時的にためる

みどりをまもる

庭や駐車場を緑化することで
保水力を高める



和歌山県内の特定都市河川について詳しく知りたい方は、
和歌山県河川課のHPにて各種情報を掲載しています。

○ おわりに

「流域治水」という言葉を、1人でも多くの方々に知っていただき、なじみを持っていただ
けるよう、今後も和歌山県では治水安全度向上にむけた河川整備事業を実施していきます。

「大和川・石川クリーン作戦」について

堺市 建設局 土木部 河川水路課

○ 大和川・石川について

大和川は、奈良県桜井市の笠置山地を源とし、奈良盆地を放射状に流れる大小の支川と合流しながら、府県境手前の奈良県王子市で一つの流れとなります。

その後、亀の瀬溪谷を経て大阪平野を西流し、大阪湾へ注ぐ一級河川です。

流域には、大阪市、堺市、奈良市など多くの都市が位置しており、近畿地方における社会、経済、文化の中枢を担う地域を流域としています。

石川は大和川水系の主要な支川で、河内長野市南部を源とし、柏原市付近で大和川に合流する一級河川です。

石川中流部から下流部にかけては、スポーツ広場や自然と触れ合える散策路などが整備された府営石川河川公園があります。

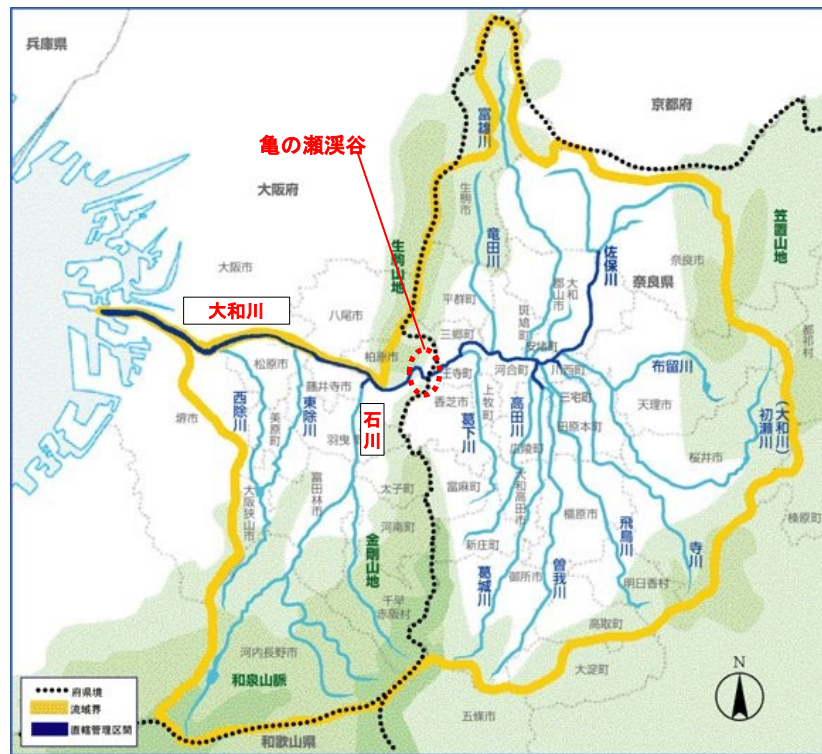
両河川ともに、近隣住民の生活環境の一部であることや、生物生息環境として、大切な河川です。

○ 大和川・石川クリーン作戦とは

「大和川・石川クリーン作戦」は、大和川流域において、河川美化や愛護の意識を高め、水質改善を図ることを目的として、流域住民、企業等と国土交通省、大阪府、流域市町村とが一体となって清掃活動に取り組むもので、平成8年度から毎年開催されています。

大阪府下では、大和川・石川とその支川の流域各地（大阪市、堺市、八尾市、富田林市、河内長野市、松原市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、河南町）において清掃実施会場（66会場）を設けており、毎年3月に開催されています。

また、奈良県下においても、平成20年度から「大和川一斉清掃」として、大和川流域の市町村の各地（56会場）で清掃活動が実施されています。



流域図

国土交通省HPより



大和川



大和川に生息するアユ

○ 令和7年度の開催内容について

令和7年度の「大和川・石川クリーン作戦」は、大阪府下の66会場を代表し、堺市の大和川公園をメイン会場として、令和8年3月1日（日）に開催されました。開会式では、主催者からの挨拶や応援に駆けつけたマスコットキャラの紹介が行われ、賑やかな式典となりました。

堺市内の各会場合計で、約830人の方が清掃活動に参加していただき、約1.4tのゴミを回収することができました。

また、大阪府下では約1万人の方が清掃活動に参加され、約32t（軽トラック約92台分）のゴミを回収しました。

※軽トラックの最大積載量を0.35 tと仮定



清掃活動の様子（大和川）



マスコットキャラ紹介



収集したゴミ

○ おわりに

大和川・石川は、私たちの暮らしに身近な大切な川です。「大和川・石川クリーン作戦」は、川をきれいにするだけでなく、地域の皆さまに川への関心を持っていただく大切な機会となっています。

令和7年度の活動では、多くの住民・団体・企業の皆さまにご参加いただき、河川環境の美化に大きな成果を上げることができました。ご協力いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。

今後も、きれいで親しみやすい川を次の世代へ引き継いでいくため、地域の皆さまとともに、河川環境の保全に取り組んでまいります。

土砂災害防止「全国の集い」 in 滋賀を開催

近畿地方整備局 河川部 河川計画課

○ 土砂災害防止「全国の集い」 in 滋賀を開催しました！

地球温暖化に伴う気候変動により、熱帯低気圧の強度が増大するとともに、大雨の頻度も増加する可能性が高く、土砂災害の増加、激甚化が懸念されています。

国土交通省では、土砂災害の防止と被害の軽減を目的に、昭和58年より6月を「土砂災害防止月間」と定めています。

令和8年6月11日（木）に土砂災害防止月間の主要行事として、「第44回土砂災害防止『全国の集い』in滋賀」を滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール（大ホール）にて国土交通省と滋賀県の共催で開催しました。

○ 基調講演：「砂」と暮らした地域の歴史に学ぶ

講演者の渡部圭一氏（筑波大学人文社会系准教授）により基調講演をいただきました。

講演では、かつて琵琶湖の周辺の山々ははげ山だったこと、古文書等から、住民生活様式が砂と共存してきたことを明らかにしました。

○ パネルディスカッション

「近代砂防発祥の地 滋賀県からの警鐘」

たなかみ

田上山など滋賀県の砂防の歴史を振り返り、伊吹山の鹿の食害による土砂災害や大規模山火事後の土砂災害など、新たな土砂災害にどう向き合うのかを議論。

○ ポスターセッション

近畿地整職員により、管内の砂防事業をテーマに最新の技術や実験についてポスターを用いた説明を行いました。

○ 現地研修会

翌日12日（金）の現地研修会では、アクア琵琶湖の瀬田川砂防コーナーで、河川技術伝承会により瀬田川水系直轄砂防事業（平成25年度に事業完了）について説明していただきました。

また、土木遺産に指定されたオランダ堰堤の見学等も開催しました。



アクア琵琶湖での見学



ポスターセッションで説明する職員

○ 7月は河川愛護月間・海岸愛護月間

国土交通省では、河川・海岸環境の保全や愛護意識の醸成、防災意識の普及・啓発を図るため、毎年7月を「河川愛護月間」及び「海岸愛護月間」としています。

期間中は、地域住民や関係団体、行政機関などが主体となり、河川や海岸への理解と関心を深めるとともに、環境保全や美化活動などの各種愛護活動が全国各地で実施されます。

きんきのダム巡り



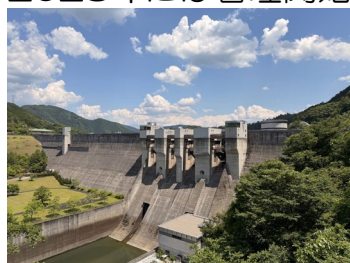
ひよし
日吉ダム（京都府南丹市）

管理者：独立行政法人水資源機構

日吉ダムは、桂川が淀川に合流する地点から上流55kmの南丹市にあります。国内で初の「地域に開かれたダム」として整備され、ダム下流部は広大な芝生広場があり、ダム内部も自由に見学ができます。また、隣接する道の駅スプリングスひよしには、温泉やプール、人気のグランピングやBBQができるキャンプ場等があり、京阪神地区から日帰り圏で、家族連れなど多くの方々が来訪され、とても賑わっています。

日吉ダムは、洪水がもたらす浸水被害を軽減し、流水の正常な機能の維持、京阪神地域の水道用水の水源を目的として建設され、2028年には管理開始30周年を迎えます。

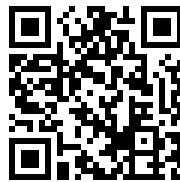
所在地	京都府南丹市
河川名	桂川
目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水
型式	重力式コンクリート
ゲート	常用洪水吐：高圧ラジアルゲート 非常用洪水吐：クレストラジアルゲート
堤高/堤頂長	67.4m/438m
総貯水容量	6,600万m ³
本体着工/完成年	1993（平成5）年/1998（平成10）年
管理者	水資源機構
ダム湖名	あまわかこ天若湖



テレビ番組「博士ちゃん」で紹介されたダム冒険博士ちゃん（三木陽太さん）も大絶賛のダムの側でキャンプができるレジャーダムです。

ダム内部を自由に見学でき、コンジットゲート（常用洪水吐き）も見られるインフォギャラリーがあります。

開館時間 午前10時～午後4時まで
（毎週水曜・年末年始休館）



日吉ダム
ホームページ

こうちがわ

河内川ダム

ブルーライトアップ

- 実施日：令和8年8月1日（土）～令和8年8月7日（金）
- 場所：河内川ダム（福井県三方上中郡若狭町熊川71-4-1）

河内川ダムは、2019年（令和元年）完成の県営ダムで、上流にはキャンプ場等のアクティビティ施設、下流には重要伝統的建造物群保存地区の熊川宿もあります。2021年より毎年、水の週間に合わせてライトアップイベントを実施しており、ライトアップは主にブルーですが、レインボーカラーにもなり、様々に表情を変える幻想的な景観もお楽しみいただけます。日中とはひと味違う、光に彩られた河内川ダムの魅力をぜひ現地でご体感下さい。



【ライトアップ時間】

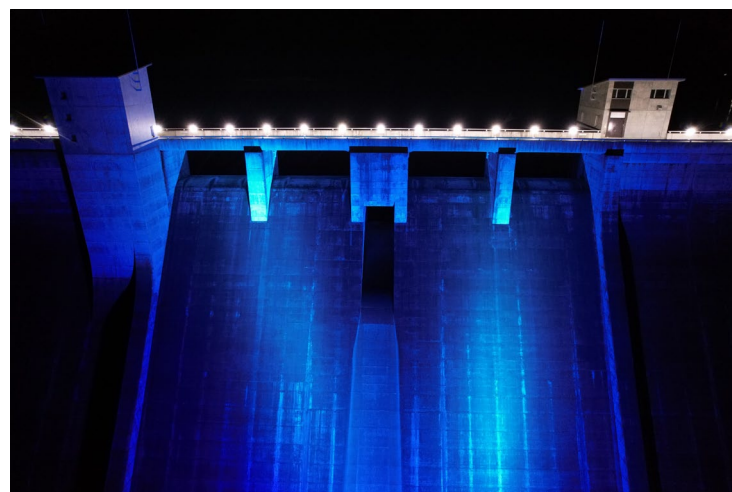
19時30分から21時まで

【交通機関】

舞鶴若狭自動車道上中ICより車で約15分
（河内川ダムまで約13km）

【問い合わせ先】

河内川・大津呂ダム統合管理事務所
TEL 0770-56-0970



見てね！

福井県河川課
FB



福井県河川課
Instagram



■編集後記

「さらさ」2026夏号(134号)の編集を務めさせていただきました三重県です。
今回、提供いただいた記事はどれも興味深く、河川やダムに関するイベントも多く実施されているとのことで、私もぜひ参加してみたいです！
今後も、河川の魅力向上に向けて、情報共有・情報発信の場として、「さらさ」を活用していただければと思います。
お忙しい中、投稿していただいた近畿地方整備局、各府県市の御担当者様、独立行政法人水資源機構におかれましては、御協力いただきまして、ありがとうございました。

編集担当：三重県 県土整備部 河川課

編集・発刊：三重県 福井県 滋賀県 京都府 京都市 大阪府 大阪市 堺市 兵庫県 神戸市
奈良県 和歌山県 独立行政法人水資源機構 国土交通省近畿地方整備局